

令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業と情報	単位数	2	履修学年・クラス	2B
担当者		使用教材	農業と情報(実教出版)				
学習目標	農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を自ら調べ身に付けるようにする。 農業に関する課題を発見し、他の生徒と情報を共有し職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
学習方法	ハードウェアとソフトウェアの仕組みを理解し、操作や処理を身に付けさせる。 ネットワーク、インターネットを利用し、必要な情報の取捨選択ができ、効果的な利用ができるようにする。 文書処理や表計算の基本・応用技術を習得し、課題解決のため合理的・創造的な問題解決能力を高める。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	学校での学習や実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。				
	思	思考・判断・表現	農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。				
	態	主体的に取り組む態度	農業情報を活用した事例をもとに、農業や環境の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	第1章 私たちの生活と農業の情報化 ・情報社会における私たちの生活 ・情報とメディア ・情報社会とモラル ・農業を支える情報	情報処理教室のルールの振り返り 情報の意義と役割 インターネット 情報の特徴・性質、メディアリテラシー 情報社会の光と影・情報化への対応 コミュニケーション(SNS) 個人情報 知的財産権の保護 データ活用の新しい農業	○ ○ ○ ○ ○ ○			【知】 情報機器やソフトウェアの適切な操作ができる。 情報社会のしくみや情報化に関する知識およびモラルについて理解できる。 【思】 情報社会のしくみや情報化、情報社会の発展に関する諸課題の解決をめざして思考を深めることができる。 【態】 情報社会のしくみや情報化に関心をもち、情報社会の発展に関する課題や活用について探求しようとしている。	演習 レポート作成と提出 授業観察 考査
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン ・表作成と表現	表作成ソフトウェアの基本操作	○		○		
前期末	第2章 社会を支えるコンピュータ ・コンピュータの仕組み ・データや情報の表現 ・情報通信ネットワーク	ハードウェア・ソフトウェア コンピュータ処理されるデータ・情報の種類 ネットワークの仕組みと特徴・種類	○ ○ ○			【知】 コンピュータやネットワークの概要が理解でき、目的に応じた情報機器やソフトウェアの活用ができる。 【思】 情報通信ネットワークに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】 情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	演習 レポート作成と提出 授業観察 考査
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン ・文書作成と表現 ・データの集計と視覚化	表作成の応用(情報処理技能検定表計算3級) 表の作成と表計算	○ ○		○ ○		

後期中間	第2章 社会を支えるコンピュータ ・インターネットのしくみ ・情報セキュリティ	インターネットの概要・電子メール 情報システムの脅威とセキュリティシステム	○ ○			【知】 インターネットとセキュリティ管理に関する知識を理解し、情報モラルと情報セキュリティ管理に關して適切に選択し活用している。 【思】 最新の農業に関する情報システムの諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。また、自らプログラムを設計できる。 【態】 スマート農業のしくみ、情報蓄積や管理の概念、シミュレーションの方法や考え方などに関心をもち、それらの課題や活用について探求しようとしている。	演習 レポート作成と発表 授業観察 考査
	第4章 スマート農業への展望 ・スマート農業をめざす将来	農業の課題と将来 精密農業 データとスマート農業 プログラムの設計		○ ○ ○			
	第3章 コミュニケーションと情報デザイン ・データの集計と視覚化	表の作成と表計算 関数・グラフ	○ ○				
後期末	第3章 コミュニケーションと情報デザイン ・データの集計と視覚化	プレゼンテーションソフトの操作と活用 関数・グラフ	○ ○			【知】 データの収集・蓄積・整理ができ、目的に応じた情報機器やソフトウェアの活用ができる。 【思】 農業情報に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	演習 レポート作成 授業観察 考査
	第5章 農業の分析と活用 ・農業情報の収集と分析	外部情報・内部情報の収集と分析		○	○	【態】 農業情報や環境情報に関心をもち、地域の実態や学科の特色に応じた実践的な課題について探求しようとしている。	